

科目名	社会経営学		学年	3 年 15 期生	
担当者			期 別	前期	
単 位 数	2 単 位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	32 時間	16 回	専任・兼任	兼任	
実務経験	【教育実績】1991～2000、08～09、09～18 福岡県立小・中学校 九州医療専門学校 【臨床実績】2009～18 九州医療専門学校九福附属治療院				
一般目標(GIO)					
鍼灸院開業に際しての具体的な準備や日々の業務内容を学習する。 地域での活動や地域住民とのコミュニケーションの大切さを理解する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	2	自分の治療院を周りの人に知ってもらおう手立てを考える	情報発信の大切さと地域の人とのコミュニケーションの大切さを理解する。
2		17	2	カタログ・パンフレット・リーフレットの違いについて	それぞれの違いを理解することができる。
3		24	2	リーフレット作成 I	必ず掲載した方がよい情報を考える。
4	5	8	2	リーフレット作成 II	皆が興味を持つ色使いやイラストを考える。
5		15	2	リーフレット作成 III	バランスの良い構成を考える。
6		22	2	リーフレットの完成	各自が納得できるリーフレットの完成。
7		29	2	問診票について	患者の状態を知るために必要な書類であることを理解する。
8	6	5	2	問診票の作成 I	患者の状態について知らなければならない情報を考える。
9		12	2	問診票の作成 II	具体的に患者が書きやすくわかりやすい問診票を作成する。
10		19	2	問診票の作成 III	具体的に患者が書きやすくわかりやすい問診票を作成する。
11		26	2	問診票の完成	各自が納得できる問診票の完成。
12	7	3	2	患者にわかりやすい説明の大切さについて	相手の気持ちを考えながら説明することの大切さを理解する。
13		10	2	治療院の日々の業務について I	帳簿を作成し記載しなければならない項目と保管しなければならない領収書などについて理解する。
14		17	2	治療院の日々の業務について II	地域住民とのコミュニケーションの大切さを理解する。
15		24	2	確定申告について	確定申告の大切さを理解する。
16	8	21	2	全体のまとめと復習	
評価基準			教科書		参考書
課題提出	50%		自作プリント		
出席日数	30%				
授業態度	20%				
	%				

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:35～12:05)

3限目(12:10～12:55)

科目名	衛生学・公衆衛生学	学年	3 年 15 期生
担当者		期別	通年
単位数	2 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	32 時間 32 回	専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務5年、専門学校附属治療院16年		

## 一般目標(GIO)

はり、きゅうの診療活動とともに、病気の予防や健康増進の知識と技術およびこれらが展開される保健福祉の法制・理論の両方を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	3	衛生学・公衆衛生学の意義	衛生学・公衆衛生学の歴史が説明できる
2		18	3	衛生学・公衆衛生学の意義	衛生学・公衆衛生学の活動と意義が説明できる
3		25	3	健康	健康の概念が説明できる
4	5	9	3	健康	健康管理の概要が説明できる
5		16	3	健康	衛生行政・医療制度(保障)が説明できる
6		23	3	ライフスタイルと健康	食品と栄養について説明できる
7		30	3	ライフスタイルと健康	食品と疾病について説明できる
8	6	6	3	ライフスタイルと健康	食中毒について説明できる
9		13	3	ライフスタイルと健康	運動と健康について説明できる
10		20	3	環境と健康	環境と健康の関連が説明できる
11		27	3	環境と健康	物理学的環境要因と健康について説明できる
12	7	4	3	環境と健康	化学的環境要因と健康について説明できる
13		11	3	環境と健康	生物学的環境要因と健康について説明できる
14		18	3	環境と健康	公害について説明できる
15		25	3	環境と健康	地球規模の環境問題について説明できる
16	8	22	3	テスト返却と解説	
17		28	3	産業保健	労働と健康について説明できる
18	9	4	3	精神保健	精神障害の現状と分類が説明できる
19		18	3	母子保健	母体および乳幼児の健康について説明できる
20		25	3	母子保健	児童虐待の現状が説明できる
21	10	2	3	成人・高齢者保健	生活習慣病の特徴と対策が説明できる
22		9	3	成人・高齢者保健	高齢者の保健福祉対策が説明できる
23		16	3	感染症とその対策	感染症の種類が説明できる
24		23	3	感染症とその対策	感染源の種類が説明できる
25		30	3	感染症とその対策	感染経路の種類が説明できる
26	11	6	3	感染症とその対策	予防接種の種類が説明できる
27		13	3	消毒法	物理的消毒法が説明できる

28		20	3	消毒法	化学的消毒法が説明できる
29		27	3	疫学	コホート研究と症例対照研究が説明できる
30	12	4	3	保健統計	人口動態統計が説明できる
31		11	3	保健統計	人口静態統計が説明できる
32		18	3	国際保健	多国間協力と二国間協力が説明できる
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	衛生学・公衆衛生学(医歯薬出版)		国民衛生の動向(厚生労働統計協会)
		%			
		%			
		%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	臨床医学総論Ⅱ			学年	3年15期生
担当者				期別	通年
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
診察における病態把握のための知識を習得し、東洋医学の知識だけでなく、西洋医学の知識も習得し、臨床症状や理学検査の方法を正しく理解する。					
本科目では、全身的な診察、運動機能の評価、症状別の診察法についての知識の習得を目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	8	3	診察の概要、医療面接	医療面接に必要な知識が説明・実践できる
2		15	3	生命徴候の診察1	体温、脈拍の変化における病態を説明できる
3		22	3	生命徴候の診察2	血圧、呼吸の変化における病態を説明できる
4	5	13	3	視診1	顔貌、精神・意識状態の変化における病態を説明できる
5		20	3	視診2	言語、体格の変化における病態を説明できる
6		27	3	視診3	姿勢と体位、歩行の変化における病態を説明できる
7	6	3	3	視診4	皮膚の変化における病態を説明できる
8		10	3	視診5	爪、リンパ節、頭部、顔面部の変化における病態を説明できる
9		17	3	視診6	眼、鼻の変化における病態を説明できる
10		24	3	視診7	口腔の変化における病態を説明できる
11	7	1	3	視診8	頸部、胸部、腹部の変化における病態を説明できる
12		8	3	視診9	腰背部、四肢の変化における病態を説明できる
13		16	3	打診	打診の概要、各部位の打診所見の変化における病態を説明できる
14		22	3	聴診	聴診の概要、各部位の聴診所見の変化における病態を説明できる
15		29	3	触診	触診の概要、各部位の聴診所見の変化における病態を説明できる
16	8	19	3	テスト返却・解説	
17		30	3	神経系の検査1	知覚検査の概要、各感覚の変化における病態を説明できる
18	9	6	3	神経系の検査2	知覚検査の概要、各感覚の変化における病態を説明できる
19		20	3	神経系の検査3	反射検査の概要、各検査所見の変化における病態を説明できる
20		27	3	神経系の検査4	反射検査の概要、各検査所見の変化における病態を説明できる
21	10	4	3	神経系の検査5	不随意運動の所見における病態を説明できる
22		11	3	神経系の検査6	高次脳機能検査の各所見における病態を説明できる
23		18	3	神経系の検査7	脳神経検査の各所見における病態を説明できる
24		25	3	神経系の検査8	運動麻痺の概要と所見の変化における病態を説明できる
25	11	1	3	神経系の検査9	運動失調の概要、各検査所見の変化における病態を説明できる
26		8	3	神経系の検査10	髄膜刺激症状の概要、各検査所見の変化における病態を説明できる

27		15	3	運動機能検査1	頸部～上肢の理学検査と所見の変化における病態を説明できる
28		29	3	運動機能検査2	下肢の理学検査と所見の変化における病態を説明できる
29	12	6	3	臨床検査法1	尿・糞便検査所見の変化における病態を説明できる
30		13	3	臨床検査法2	血液検査所見の変化における病態を説明できる
31		20	3	臨床検査法3	血液検査所見の変化における病態を説明できる
32	1	10	3	臨床検査法4	ホルモン・腫瘍マーカーの変化における病態を説明できる
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	臨床医学総論(医歯薬出版)		フィジカルアセスメントがみえる(メディックメディア) 病気がみえる(メディックメディア)

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:35～12:05)

3限目(12:10～12:55)

科目名	リハビリテーション医学			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	通年
単位数	3			講義・実習	講義
時間数・授業回数	48時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
リハビリテーションの基本的な知識から、障害の概念および評価、運動学の基礎、臨床における代表的な各疾患に対しての評価とリハビリテーションについての知識の習得を目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	9	2	リハビリテーションの概要	リハビリテーションの理念および障害の概念を説明できる
2		16	2	医学的リハビリテーションの概要	医療におけるリハビリテーションの概要を説明できる
3		23	2	障害の評価1	運動機能の評価について説明できる
4	5	7	2	障害の評価2	運動協調性・発達、認知機能の評価について説明できる
5		14	2	障害の評価3	言語・摂食嚥下機能の評価について説明できる
6		21	2	障害の評価4	高次脳機能の評価について説明できる
7		28	2	活動・参加・合併症の評価	ADL・参加・廃用症候群の評価について説明できる
8	6	4	2	リハビリテーション治療1	理学療法・作業療法の概要について説明できる
9		11	2	リハビリテーション治療2	言語聴覚療法・義肢装具療法の概要について説明できる
10		18	2	リハビリテーション治療各論1	脳卒中の病態およびリハビリテーションについて説明できる
11		25	2	リハビリテーション治療各論2	脳卒中の病態およびリハビリテーションについて説明できる
12	7	2	2	リハビリテーション治療各論3	脊髄損傷の病態およびリハビリテーションについて説明できる
13		9	2	リハビリテーション治療各論4	切断の病態およびリハビリテーションについて説明できる
14		23	2	リハビリテーション治療各論5	脳性麻痺の病態およびリハビリテーションについて説明できる
15		30	2	リハビリテーション治療各論6	呼吸器・心臓疾患の病態およびリハビリテーションについて説明できる
16	8	20	2	テスト返却・解説	
17	9	2	3	リハビリテーション治療各論7	運動器疾患の病態およびリハビリテーションについて説明できる
18		11	3	リハビリテーション治療各論8	運動器疾患の病態およびリハビリテーションについて説明できる
19		13	3	リハビリテーション治療各論9	運動器疾患の病態およびリハビリテーションについて説明できる
20		19	3	リハビリテーション治療各論10	神経疾患の病態およびリハビリテーションについて説明できる
21		30	3	運動学総論	関節運動の基礎について説明できる
22	10	7	3	姿勢と重心	身体の正常な姿勢と重心について説明できる
23		21	3	歩行1	歩行周期について説明ができる
24		28	3	歩行2	歩行における各器官の働きについて説明できる
25	11	11	3	脊柱・体幹の運動機能	脊柱の構造と運動について説明できる
26		18	3	肩甲帯・肩関節の運動機能	肩甲帯・肩関節の構造と運動について説明できる

27	12	2	3	上腕・肘・前腕の運動機能	上腕・肘・前腕の構造と運動について説明できる
28		9	3	手関節・手部の運動機能	手関節・手部の構造と運動について説明できる
29		16	3	下肢帯・股関節の運動機能	下肢帯・股関節の構造と運動について説明できる
30		23	3	大腿・膝関節の運動機能	大腿・膝関節の構造と運動について説明できる
31		24	3	下腿・足関節の運動機能	下腿・足関節の構造と運動について説明できる
32		8	3	足部の運動機能	足部の構造と運動について説明できる
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	リハビリテーション医学(医歯薬出版)		リハビリテーションビジュアルブック(学研)

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	関係法規			学年	3年15期生
担当者				期別	後期
単位数	1			講義・実習	講義
時間数・授業回数	16時間・8回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務6年 専門学校附属治療院2年				
一般目標(GIO)					
これから変わりゆく医療に対応し、医療従事者として患者と自らを守る法令を学ぶ。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	8	30	2	法とは何か	法の意義、インフォームドコンセントについて理解し説明できる
2	9	6	2	あはき師に関する法律	あはき師の免許について説明できる 業務に関する法律を理解する
3		20	2	あはき師に関する法律	施術所開設に関する法律を理解する 罰則について理解する
4		27	2	医療法	病院等の開設・管理について理解する 病院・診療所・助産院の広告、監督について理解する
5	10	4	2	医師法(歯科医師法) 医療従事者に関する法律	医師・医療従事者の業務、免許について理解する
6		11	2	薬事法規・衛生関係法規	薬事法、地域保健法、母体保護法について説明できる
7		18	2	社会福祉関係法規	社会福祉法に関する事例をあげ、説明できる 我が国の医療保険について説明できる
8		25	2	復習	
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	関係法規(医歯薬出版)			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)



科目名	東洋医学臨床論Ⅱ			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	前期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・16回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
臨床現場で遭遇する各症状・疾患に対し、鑑別診断および病態把握ができ、 病体に合わせた的確な治療ができる知識の習得を目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	9	1	肩こり	肩こりの現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
2		16	1	頸肩腕痛	頸肩腕痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
3		23	1	肩関節痛1	肩関節痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
4	5	7	1	肩関節痛2	肩関節痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
5		14	1	上肢痛1	上肢痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
6		21	1	上肢痛2	上肢痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
7		28	1	腰下肢痛1	腰下肢痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
8	6	4	1	腰下肢痛2	腰下肢痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
9		11	1	膝痛1	膝痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
10		18	1	膝痛2	膝痛の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
11		25	1	運動麻痺	運動麻痺の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
12	7	2	1	高血圧症	高血圧症の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
13		9	1	低血圧症	低血圧症の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
14		23	1	スポーツ医学における鍼灸治療1	スポーツ障害の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
15		30	1	スポーツ医学における鍼灸治療2	スポーツ障害の現代医学・東洋医学的な考え方について説明できる
16	8	20	1	テスト返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	東洋医学臨床論 はりきゅう編(医道の日本社)		病気がみえる(メディックメディア)	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	社会はりきゅう学			学年	3 年 15 期生
担当者				期 別	後期
単位数	2 単 位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間 16回			専任・兼任	専任
実務経験	特別支援学校附属治療院8年 専門学校附属治療院14年				
一般目標(GIO)					
<p>時代の変遷とともに、医学、医療の進歩もとどまるところがない。そこで、鍼灸を含む医学や医療の発達の歴史をそのうえに立って現代の医学、医療の現状を認識する。そして制度の概要および関係法規に関する知識を修得するとともに、医療従事者の倫理や施術者として必要な能力と態度を身に付ける。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	3	2	社会的ニーズと鍼灸師の役割 1	日本における鍼灸の歴史と現況概観を説明できる。
2	9	10	2	社会的ニーズと鍼灸師の役割 2	現代の鍼灸における社会的背景と展望を説明できる。
3	9	17	2	鍼灸師を取り巻く環境 1	現代社会における医療制度の現状について説明できる。
4	9	24	2	鍼灸師を取り巻く環境 2	医療保険制度および介護保険制度の概要について説明できる。
5	10	8	2	鍼灸師を取り巻く環境 3	社会保障制度下における鍼灸治療について説明できる。
6	10	15	2	鍼灸師を取り巻く環境 4	医療機関における鍼灸師の役割について説明できる。
7	10	29	2	地域で期待される鍼灸師の業務1	施術所における鍼灸治療について説明できる。
8	11	5	2	地域で期待される鍼灸師の業務2	在宅医療について説明できる。
9	11	12	2	地域で期待される鍼灸師の業務3	介護保険制度下での鍼灸業務について説明できる。
10	11	19	2	地域で期待される鍼灸師の業務4	鍼灸に併用するその他の療法について説明できる。
11	11	26	2	現代社会における鍼灸師の役割1	少子高齢社会における鍼灸師の役割について説明できる。
12	12	3	2	現代社会における鍼灸師の役割2	女性の健康管理における鍼灸師の役割について説明できる。
13	12	10	2	現代社会における鍼灸師の役割3	ストレス社会における鍼灸師の役割について説明できる。
14	12	17	2	現代社会における鍼灸師の役割4	スポーツ傷害やQOLの向上に対する鍼灸師の役割について説明できる。
15	1	7	2	施術所の経営展開 1	施術所開設に必要な法律知識を学び説明できる。
16	1	9	2	施術所の経営展開 2	経営各論について概要を説明できる。
評価基準				教科書	参考書
定期試験(筆記試験) 100%				社会あはき学(東洋療法学校協会編)	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	はりきゅう実技応用IV			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	前期
単位数	2 単位			講義・実習	実習
時間数・授業回数	64 時間	32 回		専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務5年、専門学校附属治療院16年				
一般目標(GIO)					
<p>正確な病能把握(問診・検査・鑑別)、鍼灸治療の適応、禁忌の判断、適切な処置あるいは治療と効果判定、客観的な記録など、鍼灸臨床をスムーズに行うための技能を養う。</p> <p>主要症候の鍼灸治療において、東洋医学的な考え方(東洋医学概論で学習する疾病観、診断論、治療論など)と現代医学的考え方(疾病についての現代医学の知識や鍼灸治療の適・不適の判断など)、双方からのアプローチができるような知識と技術を養う。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	8	1	胸部、背部の痛み	筋筋膜症、肋間神経痛に対する施術が実施できる
2		8	2		
3		15	1	消化器疾患3	便通異常に対する施術が実施できる
4		15	2		
5		22	1	自律神経疾患1	疲労と倦怠に対する施術が実施できる
6		22	2		
7	5	13	1	婦人科疾患2	月経随伴症状と胎位不正に対する施術が実施できる
8		13	2		
9		20	1	自律神経疾患2	不眠に対する施術が実施できる
10		20	2		
11		27	1	消化器疾患4	食欲不振、肥満に対する施術が実施できる
12		27	2		
13	6	3	1	婦人科疾患3	更年期障害に対する施術が実施できる
14		3	2		
15		10	1	初診1	医療面接を行い、適切な診療録が記述できる
16		10	2		
17		17	1	初診2	医療面接を行い、適切な診療録が記述できる
18		17	2		
19		24	1	再診1	医療面接、施術を実施し、適切な診療録が記述できる
20		24	2		
21	7	1	1	再診2	医療面接、施術を実施し、適切な診療録が記述できる
22		1	2		
23		8	1	テスト	難経69難に基づいた選穴と施術が出来る
24		8	2		
25		16	1	再診3	医療面接、腹診を考慮した施術を実施し、適切な診療録が記述できる
26		16	2		
27		22	1	再診4	医療面接、舌診を考慮した施術を実施し、適切な診

28		22	2		療録が記述できる
29		29	1	再診5	医療面接、脈診を考慮した施術を実施し、適切な診療録が記述できる
30		29	2		
31	8	19	1	テスト返却	
32		19	2	カンファレンス準備	経験した症例を検討し、説明することができる
評価基準			教科書		参考書
実技テスト		40%	東洋医学臨床論(医道の日本社)		
筆記テスト		60%	臨床医学総論(医道の日本社)		
		%	東洋医学概論(医道の日本社)		
		%	現代鍼灸臨床の実際(医歯薬出版)		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	はりきゅう実技応用V			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	後期
単位数	2			講義・実習	実習
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
現在までに習得した理学検査や測定項目、体表解剖を復習・確認し、臨床での病態把握につなげられるようにする。本科目では、関節可動域測定、理学検査、体表解剖(触診)などを中心に知識・技術の習得を目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	2	1	頸部	頸部のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
2		2	2	頸部	頸部のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
3		11	1	肩関節	肩関節のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
4		11	2	肩関節	肩関節のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
5		13	1	上腕部・肘関節	上腕・肘のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
6		13	2	上腕部・肘関節	上腕・肘のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
7		19	1	前腕・手関節・手部	前腕・手関節・手部のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
8		19	2	前腕・手関節・手部	前腕・手関節・手部のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
9		30	1	腰部・股関節	腰部・股関節のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
10		30	2	腰部・股関節	腰部・股関節のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
11	10	7	1	大腿・膝関節	大腿・膝関節のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
12		7	2	大腿・膝関節	大腿・膝関節のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
13		21	1	下腿・足関節・足部	下腿・足関節・足部のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
14		21	2	下腿・足関節・足部	下腿・足関節・足部のROM、体表解剖、理学検査を理解し実践できる
15		28	1	胸郭出口症候群	胸郭出口症候群の検査を理解し実践できる
16		28	2	胸郭出口症候群	胸郭出口症候群の検査を理解し実践できる
17	11	11	1	病的反射	病的反射検査を理解し実践できる
18		11	2	病的反射	病的反射検査を理解し実践できる
19		18	1	髄膜刺激・錐体路・運動失調検査	髄膜刺激・錐体路・運動失調検査を理解し実践できる
20		18	2	髄膜刺激・錐体路・運動失調検査	髄膜刺激・錐体路・運動失調検査を理解し実践できる
21	12	2	1	腹部・背部の検査	腹部・背部の体表解剖、理学検査を理解し実践できる
22		2	2	腹部・背部の検査	腹部・背部の体表解剖、理学検査を理解し実践できる
23		9	1	復習	これまでの実技内容を確認し、実技試験の練習を行う
24		9	2	復習	これまでの実技内容を確認し、実技試験の練習を行う
25		16	1	復習	これまでの実技内容を確認し、実技試験の練習を行う
26		16	2	復習	これまでの実技内容を確認し、実技試験の練習を行う
27		23	1	復習	これまでの実技内容を確認し、実技試験の練習を行う
28		23	2	復習	これまでの実技内容を確認し、実技試験の練習を行う

29		24	1	実技試験	
30		24	2	実技試験	
31	1	8	1	試験のフィードバック	実技試験での内容をフィードバックし、確認する
32		8	2	試験のフィードバック	実技試験での内容をフィードバックし、確認する
評価基準			教科書		参考書
実技試験		80%			フィジカルアセスメントがみえる(メディックメディア)
出席状況		20%			病気がみえる(メディックメディア)
					筋と骨格の触診術の基本(マイナビ)
					骨・関節・靭帯・神経・血管の触診術の基本(マイナビ)

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	臨床実習	学年	3 年 15 期生
担当者		期別	通年
単位数	4 単位	講義・実習	実習
時間数・授業回数	192 時間 64 回	専任・兼任	専任
実務経験			

## 一般目標(GIO)

主体性をもって患者に対応し、問診から検査、病態把握、治療方針の決定、治療、効果判定、カルテ記載を一人で行えるようになるとともに、症例を通して問題点を評価し検討できる能力を身に付ける。

また、鍼灸師(医療従事者)としての人格を養う。

(本校は模擬臨床ではない為、対象疾患は来院患者により決まる)

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	1	基本・準備1	真摯な態度で実習に臨むことができる
2		12	1	基本・準備1	真摯な態度で実習に臨むことができる
3		17	1	基本・準備2	服装のみだれがなく実習を行うことができる
4		19	1	基本・準備2	服装のみだれがなく実習を行うことができる
5		24	1	基本・準備3	準備・片付けを滞りなくできる
6		26	1	基本・準備3	準備・片付けを滞りなくできる
7	5	8	1	鍼の手技	安全に正しい刺鍼操作ができる
8		10	1	鍼の手技	安全に正しい刺鍼操作ができる
9		15	1	灸の手技	安全に正しい施灸操作ができる
10		17	1	灸の手技	安全に正しい施灸操作ができる
11		22	1	安全・衛生1	一操作一手洗いができる
12		24	1	安全・衛生1	一操作一手洗いができる
13		29	1	安全・衛生2	医療廃棄物の処理・分別がきちんとできる
14		31	1	安全・衛生2	医療廃棄物の処理・分別がきちんとできる
15	6	5	1	行動目標	行動目標をたて、それを実行できる
16		7	1	行動目標	行動目標をたて、それを実行できる
17		12	1	問診1	主訴に対する症状の経過をきくことができる
18		14	1	問診1	主訴に対する症状の経過をきくことができる
19		19	1	問診2	相手に受け入れられる言葉遣い・態度で問診ができる
20		21	1	問診2	相手に受け入れられる言葉遣い・態度で問診ができる
21		26	1	問診3	はっきりした声で問診ができる
22		28	1	問診3	はっきりした声で問診ができる
23	7	3	1	問診4	患者さんとコミュニケーションが取れる
24		5	1	問診4	患者さんとコミュニケーションが取れる
25		10	1	カルテ1	再診時、事前に内容を調べるができる
26		12	1	カルテ1	再診時、事前に内容を調べるができる
27		17	1	カルテ2	診療に必要な情報を記載できる

28		19	1	カルテ2	診療に必要な情報を記載できる
29		24	1	カルテ3	誤字脱字なく時間内に記載できる
30		26	1	カルテ3	誤字脱字なく時間内に記載できる
31	8	21	1	カルテ4	主訴が問題重要度順に記載できる
32		23	1	カルテ4	主訴が問題重要度順に記載できる
評価基準			教科書		参考書
実習態度		75%			
カンファレンス		25%			
		%			
		%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)



科目名	臨床実習	学年	3 年 15 期生
担当者		期別	通年
単位数	4 単位	講義・実習	実習
時間数・授業回数	192 時間 64 回	専任・兼任	専任
実務経験			

## 一般目標(GIO)

主体性をもって患者に対応し、問診から検査、病態把握、治療方針の決定、治療、効果判定、カルテ記載を一人でできるようにするとともに、症例を通して問題点を評価し検討できる能力を身に付ける。

また、鍼灸師(医療従事者)としての人格を養う。

(本校は模擬臨床ではない為、対象疾患は来院患者により決まる)

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	8	28	1	検査1	提示した検査の知識がある
2		30	1	検査1	提示した検査の知識がある
3	9	4	1	検査2	要求した検査が正しくできる
4		6	1	検査2	要求した検査が正しくできる
5		18	1	カルテ6	西洋医学的に所見を評価できる
6		20	1	カルテ6	西洋医学的に所見を評価できる
7		25	1	検査3	要求した東洋医学的診察法の知識がある
8		27	1	検査3	要求した東洋医学的診察法の知識がある
9	10	2	1	検査4	要求した東洋医学的診察法が正しくできる
10		4	1	検査4	要求した東洋医学的診察法が正しくできる
11		9	1	カルテ5	東洋医学的に所見を評価できる
12		11	1	カルテ5	東洋医学的に所見を評価できる
13		16	1	カルテ7	主訴に対する適切な考察ができる
14		18	1	カルテ7	主訴に対する適切な考察ができる
15		23	1	カルテ8	考察に応じた計画を立て、その実施が適切にできる
16		25	1	カルテ8	考察に応じた計画を立て、その実施が適切にできる
17		30	1	症例検討発表会1	症例の検討をし、発表の準備ができる
18	11	1	1	症例検討発表会1	症例の検討をし、発表の準備ができる
19		6	1	症例検討発表会2	症例検討の発表ができる
20		8	1	症例検討発表会2	症例検討の発表ができる
21		13	1	症例検討発表会3	症例検討の発表ができる
22		15	1	症例検討発表会3	症例検討の発表ができる
23		20	1	総合1	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
24		27	1	総合1	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
25		29	1	総合2	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
26	12	4	1	総合2	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
27		6	1	総合3	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる

28		11	1	総合3	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
29		13	1	総合4	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
30		18	1	総合4	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
31		20	1	総合5	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
32	1	10	1	総合5	外来患者の主訴に応じ臨床の一連の課程が一人でできる
評価基準			教科書		参考書
実習態度		75%			
カンファレンス		25%			
		%			
		%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	スポーツ医学			学年	3 年 15 期生
担当者				期 別	前期
単位数	2 単 位			講義・実習	講義・実習
時間数・授業回数	32時間 16回			専任・兼任	兼任
実務経験	【教育経験】九州医療専門学校鍼灸師科(2016~2018年), 久留米大学(2008~2018年) 【臨床経験】ラグビー日本代表(U20含む)アスレティックトレーナー(2007~2011, 2015, 2017年)				
一般目標(GIO)					
<p>予防医学の時代となった現在では、鍼灸師においても各種疾患の予防・再発予防が求められるようになったといえる。</p> <p>本講義では、各種スポーツ傷害の病態を理解するとともに、再発予防に必要なテーピングの手法を身に付けることを目標とする。また、身体アライメントや柔軟性の評価法や動作分析について学ぶことで、それぞれのスポーツ傷害に対して根治療法的アプローチが実践できるようになることを目指す。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	1	ガイダンス, テーピングの基礎知識	テーピングの効果, 目的を把握する
2		18	1	足関節のテーピング【基本編】	足関節の基本的なテーピングを実施できる
3		25	1	足関節のテーピング【基本編】	足関節の基本的なテーピングを実施できる
4	5	9	1	足関節のテーピング【応用編】	足関節の応用的なテーピングを実施できる
5		16	1	足部・下腿の評価	足部・下腿の各種機能を評価できる
6		23	1	足底・下腿のテーピング	足底・下腿のテーピングを実施できる
7		30	1	股関節・膝関節の評価	股関節・膝関節の各種機能を評価できる
8	6	6	1	膝関節のテーピング	膝関節のテーピングを実施できる
9		13	1	大腿部・膝蓋骨のテーピング	大腿部・膝蓋骨のテーピングを実施できる
10		20	1	下肢の評価, テーピングのまとめ	下肢の評価, テーピングについて説明できる
11		27	1	体幹の評価	体幹の各種機能を評価できる
12	7	4	1	肩関節の評価	肩関節の各種機能を評価できる
13		11	1	肩関節のテーピング	肩関節のテーピングが実施できる
14		18	1	テーピング 総まとめ	これまで実施したテーピングについて説明できる
15		25	1	実技試験	
16	8	22	1	全体の振り返り	この授業の要点を説明できる
評価基準			教科書		参考書
実技試験	80%				
出席状況	20%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

科目名	基礎中医学			学年	3 年 15 期生
担当者				期 別	通年
単位数	4			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	17年(鍼灸整骨院 4年、付属鍼灸院 13年)				
一般目標(GIO)					
東洋医学概論及び東洋医学臨床論の知識を踏まえて、一つ上の中医学の基礎を修得させ、将来、中医学を自己学能力を身につける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	12	2	排尿障害(現代医学的な考え方)	慢性前立腺炎・神経因性膀胱の違いを識別できる。
2	4	19	2	排尿障害(東洋医学的な考え方)	腎陽虚、膀胱湿熱による癱閉を説明できる。
3	4	26	2	高血圧症・低血圧症(現代医学的な考え方)	本態性高血圧症、本態性低血圧症の説明ができる。
4	5	10	2	高血圧症・低血圧症(東洋医学的な考え方)	陰虚陽亢、痰濁による高血圧と気虚、気陰両虚による低血圧が説明できる。
5	5	17	2	食欲不振(現代医学・東洋医学的な考え方)	胃炎・胃神経症、胃陰虚・脾胃湿熱による悪食を説明できる。
6	5	24	2	肥満(現代医学・東洋医学的な考え方)	単純性肥満、気虚、痰湿による肥貴人の説明ができる。
7	5	31	2	発熱(現代医学・東洋医学的な考え方)	扁桃炎、陰虚、瘀血による発熱の説明ができる。
8	6	7	2	のぼせと冷え(現代医学・東洋医学的な考え方)	更年期障害、心腎不交によるのぼせと冷えが説明できる。
9	6	14	2	不眠(現代医学的な考え方)	機会性不眠と精神疾患による不眠の識別ができる。
10	6	21	2	不眠(東洋医学的な考え方)	心腎不交、痰熱による不眠の説明ができる。
11	6	28	2	疲労と倦怠(現代医学・東洋医学的な考え方)	生理的疲労、脾気虚、痰湿による倦怠の説明ができる。
12	7	5	2	発疹(現代医学・東洋医学的な考え方)	蕁麻疹、気血両虚、胃湿熱による発疹が説明できる。
13	7	12	2	小児の症状(現代医学・東洋医学的な考え方)	小児神経症、腎気虚、脾肺気虚による夜尿症を説明できる。
14	7	19	2	老年医学における鍼灸療法	アルツハイマー型・脳血管性認知症を識別できる。
15	7	26	2	老年医学における鍼灸療法	ロコモシンドロームを説明できる。
16	8	23	2	前期試験の返却・解説	
17	8	29	2	中医学総論Ⅰ	中医学の原理と原則を説明できる。
18	9	5	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	各経穴の効能を学習し、説明できる。
19	9	12	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	各経穴の効能を学習し、説明できる。
20	9	26	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	弁証から経穴を選穴し、効能を説明できる。
21	10	3	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	弁証から経穴を選穴し、効能を説明できる。
22	10	10	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	弁証から経穴を選穴し、効能を説明できる。
23	10	17	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	弁証から経穴を選穴し、効能を説明できる。
24	10	24	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	弁証から経穴を選穴し、効能を説明できる。
25	10	31	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	症例から臟腑弁証を予測し、治療経穴を選穴できる。
26	11	7	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	症例から臟腑弁証を予測し、治療経穴を選穴できる。
27	11	14	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	症例から臟腑弁証を予測し、治療経穴を選穴できる。
28	11	21	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	症例から臟腑弁証を予測し、治療経穴を選穴できる。

29	11	28	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	症例から臓腑弁証を予測し、治療経穴を選穴できる。
30	12	5	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	特定穴や配穴法を説明できる。
31	12	12	1	中医学総論Ⅱ 中医学の処方	特定穴や配穴法を説明できる。
32	12	19	1	後期試験の返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	新版 東洋学概論 東洋療法学校協会 東洋医学臨床論<はりきゅう編> 東洋療法学校協会		針灸学【臨床編】 東洋学術出版社 針灸学【経穴編】 東洋学術出版社 中医学の基礎 東洋学術出版社

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	西洋医学演習			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	通年
単位数	4			講義・実習	講義
時間数・授業回数	64時間・32回			専任・兼任	専任
実務経験	17年(鍼灸整骨院 4年、付属鍼灸院 13年)				
一般目標(GIO)					
1・2年次に学習した解剖学の基礎知識をもとに、より深く解剖学について学習し、現代医学的な鍼灸治療を安全に行なえる能力を身につける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	2	運動器系(骨格)	脊椎・四肢骨・頭蓋骨・体幹骨の説明ができる。
2	4	18	2	運動器系(骨格)	脊椎・四肢骨・頭蓋骨・体幹骨の説明ができる。
3	4	25	2	運動器系(骨格)	脊椎・四肢骨・頭蓋骨・体幹骨の説明ができる。
4	5	9	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	上肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
5	5	16	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	上肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
6	5	23	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	上肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
7	5	30	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	上肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
8	6	6	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	下肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
9	6	13	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	下肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
10	6	20	2	運動器系(筋肉・作用・支配神経・局所血管)	下肢の筋肉と作用、支配神経、局所血管の説明ができる。
11	6	27	2	人体の構成	細胞分裂・細胞の構造を説明できる。
12	7	4	2	人体の構成	組織(上皮・結合・筋・神経組織)を説明できる。
13	7	11	2	循環器系	心臓の構造と機能を説明できる。
14	7	18	2	循環器系	血管の構造、各大動脈の分枝を説明できる。
15	7	25	2	循環器系	静脈系(奇静脈・門脈)やリンパ系の流れを説明できる。
16	8	22	2	前期試験の返却・解説	
17	8	28	2	呼吸器系	上気道・下気道の構造と機能を説明できる。
18	9	4	2	呼吸器系	肺・縦隔の構造と機能を説明できる。
19	9	18	2	消化器系	口腔・咽頭・食道の構造と機能を説明できる。
20	9	25	2	消化器系	胃・小腸・大腸の構造と機能を説明できる。
21	10	2	2	消化器系	肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能を説明できる。
22	10	9	2	泌尿器系	腎臓と尿路系の構造と機能を説明できる。
23	10	16	2	生殖器系	男性生殖器の構造と機能を説明できる。
24	10	23	2	生殖器系	女性生殖器の構造と機能を説明できる。
25	10	30	2	内分泌系	各器官から分泌されるホルモンの作用を説明できる。
26	11	6	2	感覚器系	視覚器の構造と機能、視覚伝導路の説明ができる。
27	11	13	2	感覚器系	聴覚器の構造と機能、聴覚伝導路の説明ができる。
28	11	20	2	神経系	大脳・間脳・脳幹・小脳の構造と機能を説明できる。

29	11	27	2	神経系	脳室系・脳血管・髄膜(硬膜・クモ膜・軟膜)の構造と機能を説明できる。
30	12	4	2	神経系	上行性・下行性伝導路の機能を説明できる。
31	12	11	2	神経系	脳神経の構造と機能を説明できる。
32	12	18	2	後期試験の返却・解説	
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	解剖学 第2版 東洋療法学校協会		プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論・運動器系 カラー人体解剖学 西村書店

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(12:30~14:00)

科目名	東洋医学演習			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	通年
単位数	2 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32 時間	32 回		専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務5年、専門学校附属治療院16年				
一般目標(GIO)					
1・2年次に学習した経絡経穴概論などの基礎知識の復習により、臨床医学へ応用できる能力を身につける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	9	3	経絡の概要	経絡の走行・接続部などが説明できる
2		16	3	経穴の概要	骨度法・取穴に必要な体表指標などが説明できる
3		23	3	督脈	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
4	5	7	3	任脈	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
5		14	3	手の太陰肺経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
6		21	3	手の陽明大腸経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
7		28	3	足の陽明胃経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
8	6	4	3	足の太陰脾経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
9		11	3	手の少陰心経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
10		18	3	手の太陽小腸経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
11		25	3	足の太陽膀胱経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
12	7	2	3	足の少陰腎経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
13		9	3	手の厥陰心包経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
14		23	3	手の少陽三焦経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
15		30	3	足の少陽胆経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
16	8	20	3	足の厥陰肝経	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
17	9	3	3	奇経八脈	経穴名、部位、解剖を正しく記述出来る
18		10	3	奇穴	奇穴名、部位、主治を正しく記述出来る
19		17	3	経絡・経穴の現代的な研究	経絡の現象、経穴の現象が説明できる
20		24	3	要穴	四総穴・八会穴・八脈交会穴・交会穴・下合穴・禁鍼禁灸穴が説明できる
21	10	8	3	演習問題1	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
22		15	3	演習問題2	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
23		29	3	演習問題3	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
24	11	5	3	演習問題4	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
25		12	3	演習問題5	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る



26		19	3	演習問題6	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
27		26	3	演習問題7	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
28	12	3	3	演習問題8	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
29		10	3	演習問題9	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
30		17	3	演習問題10	経穴名、部位、解剖の正誤を判断し正しい記述が出来る
31	1	7	3	総合問題1	国家試験に準じた内容を理解し正しい選択が出来る
32		9	3	総合問題2	国家試験に準じた内容を理解し正しい選択が出来る
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	経絡経穴概論(医道の日本社)		
		%			
		%			
		%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)



科目名	東洋医学演習			学年	3 年 15 期生
担当者				期別	後期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・16回			専任・兼任	専任
実務経験	病院勤務 1年、鍼灸整骨院勤務 3年、専門学校附属鍼灸院勤務 7年				
一般目標(GIO)					
はりきゅう理論・臨床医学総論・リハビリテーション医学の復習を行い、国家試験合格レベルにまで学力を高める。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	3	1	はりきゅう理論復習	はり理論の基礎について理解する
2		10	1	臨床医学総論復習	四診について理解する
3		17	1	はりきゅう理論復習	はりの手技について理解する
4		24	1	臨床医学総論復習	全身の診察について理解する
5	10	8	1	はりきゅう理論復習	きゅう理論の基礎について理解する
6		15	1	臨床医学総論復習	局所の診察について理解する
7		29	1	はりきゅう理論復習	鍼灸の臨床応用とリスク管理について理解する
8	11	5	1	臨床医学総論復習	生命徴候について理解する
9		12	1	はりきゅう理論復習	鍼灸の治効の基礎と理論について理解する
10		19	1	臨床医学総論復習	神経系の診察について理解する
11		26	1	はりきゅう理論復習	鍼灸の関連学説について理解する
12	12	3	1	臨床医学総論復習	運動機能検査について理解する
13		10	1	リハビリテーション医学復習	リハビリテーション総論について理解する
14		17	1	リハビリテーション医学復習	各疾患のリハビリテーションについて理解する
15	1	7	1	リハビリテーション医学復習	運動学について理解する
16		9	1	臨床医学総論復習	臨床検査について理解する
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	はりきゅう理論(医道の日本社)		フィジカルアセスメントがみえる(メヂックメデイア)	
		臨床医学総論(医歯薬出版)		病気がみえる(メヂックメデイア)	
		リハビリテーション医学(医歯薬出版)		リハビリテーションビジュアルブック(学研)	
				はり・きゅう師国家試験過去問題集'19(医道の日本社)	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	総合医学演習	学年	3年15期生
担当者		期別	前期
単位数	2	講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間・32回	専任・兼任	専任
実務経験	特別支援学校附属治療院8年 専門学校附属治療院14年		

## 一般目標(GIO)

生理学、病理学、臨床医学について、応用問題に取り組んで総復習する。  
特に臨床医学は、教科別に修得した基礎医学の知識を基に、総合的な判断力を修得する。  
最終的には、鍼灸師として必要な総合診療能力を身につける。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	3	生理学分野	呼吸・消化吸収・内分泌について説明できる。
2	4	12	3	生理学分野	排尿・加齢変化について説明できる。
3	4	17	3	生理学分野	活動電位・筋収縮について説明できる。
4	4	19	3	生理学分野	運動支配・感覚器について説明できる。
5	4	24	3	病理学分野	菌交代現象・アミロイド変性について説明できる。
6	4	26	3	病理学分野	腫瘍の発生・滲出性炎について説明できる。
7	5	8	3	病理学分野	アレルギーの分類について説明できる。
8	5	10	3	病理学分野	腫瘍の分類について説明できる。
9	5	15	3	臨床医学分野	JCS評価法・麻疹・脳梗塞について説明できる。
10	5	17	3	臨床医学分野	ALS・GBSについて説明できる。
11	5	22	3	臨床医学分野	末梢神経障害・COPD・心臓弁膜症について説明できる。
12	5	24	3	臨床医学分野	心筋梗塞・胃癌について説明できる。
13	5	29	3	臨床医学分野	膵炎・子宮癌・血友病について説明できる。
14	5	31	3	臨床医学分野	慢性甲状腺炎・ベーチェット病・手根管症候群について説明できる。
15	6	5	3	臨床医学分野	挫減症候群・熱傷・突発性難聴・うつ病について説明できる。
16	6	7	3	臨床医学分野	糖尿病・アジソン病について説明できる。
17	6	12	3	生理学分野	物質の移動・血液型について説明できる。
18	6	14	3	生理学分野	心臓の弁と心周期・自律神経と受容体について説明できる。
19	6	19	3	生理学分野	血液による酸素の運搬・腸液の作用について説明できる。
20	6	21	3	生理学分野	物質と構成要素・脊髄神経・腱紡錘と自原抑制について説明できる。
21	6	26	3	病理学分野	染色体異常・化学物質と身体症状について説明できる。
22	6	28	3	病理学分野	種々の変性・再生について説明できる。
23	7	3	3	病理学分野	炎症・種々の腫瘍について説明できる。
24	7	5	3	病理学分野	免疫反応について説明できる。
25	7	10	3	臨床医学分野	ダンピング症候群・間質性肺炎について説明ができる。
26	7	12	3	臨床医学分野	非結核性抗酸菌症・気胸について説明ができる。
27	7	17	3	臨床医学分野	内分泌疾患と症状・ド-ケルバン病について説明できる。
28	7	19	3	臨床医学分野	椎間板ヘルニア・脊椎疾患について説明できる。

29	7	24	3	臨床医学分野	溶血性貧血・脳血管障害について説明できる。
30	7	26	3	臨床医学分野	多発性硬化症・先天性心疾患について説明できる。
31	8	21	3	臨床医学分野	多発性骨髄腫・ベル麻痺・眼疾患と治療法について説明できる。
32	8	23	3	臨床医学分野	骨粗鬆症・関節リウマチ・神経症について説明できる。
評価基準				教科書	参考書
定期試験(筆記試験)100%				臨床医学各論 第2版 生理学 第3版 病理学概論 第2版 (東洋療法学校協会編)	病気がみえる (メディックメディア)  国家試験問題集

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)

科目名	総合医学演習			学年	3 年 15 期生
担当者				期 別	後期
単位数	2			講義・実習	講義
時間数・授業回数	32時間 16回			専任・兼任	専任
実務経験	特別支援学校附属治療院8年 専門学校附属治療院14年				
一般目標(GIO)					
<p>生理学、病理学、臨床医学について、応用問題に取り組んで総復習する。</p> <p>特に臨床医学は、教科別に修得した基礎医学の知識を基に、総合的な判断力を修得する。</p> <p>最終的には、鍼灸師として必要な総合診療能力を身につける。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	8	29	1	生理学分野	細胞内小器官・血球の種類・ヘマトクリット値・呼吸運動・膵液の消化作用の生理について説明ができる。
2	9	5	2	生理学分野	発汗・尿細管の再吸収・大脳新皮質・自律神経の二重支配・神経伝導速度の生理について説明できる。
3	9	12	2	病理学分野	循環障害・塞栓・壊死について説明できる。
4	9	26	2	病理学分野	急性炎症・感染症と病原微生物・化膿性炎症について説明できる。
5	10	3	2	臨床医学分野	3-3-9度方式・ロッキング現象・脱臼・脊椎疾患とその症候・脊髄損傷・熱傷について説明できる。
6	10	10	2	臨床医学分野	破傷風・一次救命処置・ショック分類・肺炎・精神科疾患と症状について説明できる。
7	10	17	2	臨床医学分野	肺気腫・心筋梗塞・動脈疾患・肝硬変について説明できる。
8	10	24	2	臨床医学分野	胆石症・種々の内分泌疾患・慢性腎不全・種々の貧血・デュシェンヌ型筋ジストロフィー症について説明できる。
9	10	31	2	生理学分野	心周期の駆出期・化学受容器反射・肝臓の機能・代謝( $\beta$ 酸化)・体液のpH調節の生理について説明できる。
10	11	7	2	生理学分野	妊娠とホルモン・ホルモンとその作用・中枢神経系の伝達物質・骨格筋の収縮・視覚の生理について説明できる。
11	11	14	2	病理学分野	プリオン・化生・滲出性炎の漿液性炎・免疫と関係する細胞について説明できる。
12	11	21	2	病理学分野	腫瘍の種類・特性について説明できる。
13	11	28	2	臨床医学分野	下垂体腺腫・胃 大腸疾患・麻疹・頭痛とその原因疾患・神経系変性疾患について説明できる。
14	12	5	2	臨床医学分野	過換気症候群・左心不全・食道癌・更年期障害・脂質異常症について説明できる。
15	12	12	2	臨床医学分野	ビタミン欠乏症・バセドウ病・原発性アルドステロン症・線維筋痛症について説明できる。
16	12	19	2	臨床医学分野	先天性内反足・メニエル病・腸閉塞と虫垂炎・SLEを中心とする膠原病・てんかんについて説明できる。
評価基準				教科書	参考書
定期試験(筆記試験)のみ				臨床医学各論 第2版 生理学 第3版 病理学概論 第2版 (東洋療法学校協会編)	病気がみえる (メディックメディア)  国家試験問題集

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)



科目名	総合医学演習		学年	3 年 15 期生	
担当者			期別	後期	
単位数	1		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	16時間・8回		専任・兼任	専任	
実務経験	病院勤務6年 専門学校附属治療院2年				
一般目標(GIO)					
これまでに学習した内容を、確実に修得し、他教科の範囲と合わせて理解し説明できることを目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	11	1	2	【病理学概論】 疾病について・病因・循環障害	復習し、確実に修得できる
2		8	2	【臨床医学総論】 診察法・臨床検査法	復習し、確実に修得できる
3		15	2	【病理学概論】 退行性病変・進行性病変・炎症	復習し、確実に修得できる
4		29	2	【臨床医学総論】 診察法・臨床検査法	復習し、確実に修得できる
5	12	6	2	【病理学概論】 腫瘍・免疫異常・アレルギー	復習し、確実に修得できる
6		13	2	【臨床医学総論】 治療法・症候	復習し、確実に修得できる
7		20	2	【病理学概論】 先天性異常・復習	復習し、確実に修得できる
8	1	10	2	【臨床医学総論】 治療法・症候	復習し、確実に修得できる
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	臨床医学総論(東洋療法学校協会) 病理学概論(東洋療法学校協会)			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:35~12:05)

3限目(12:10~12:55)